



中国から海を渡り、
異国の地・日本で夢をかなえた画家

張 益学さん (49歳・犬塚)

「長い時間をかけて、自分のイメージを形
にしていけることが楽しくて仕方ありません。
なかなかうまくいきませんけどね」と流ちょうな日本語で絵の魅力を語るのが、今月紹介する中国遼寧省出身の画家・張益学さんです。
周囲の反対を押し切り、画家になることを決意したのは19歳のころ。美術の愛好家なら誰でも学ぶことができる美術大学で、仕事をしながら腕を磨いていた張さんの脳裏を「このまま会社員として一生過ごしていいの」という考えがよぎったそうです。3年間の猛勉強の末、中国でトップクラスの美術大学である、国立上海戯劇大学舞台美術デザイン学部の試験に見事合格。大学生生活を通じて、世界で活躍する画家の展覧会に積極的に足を運び、絵に対する視野を広げるなど、充実した日々を送っていました。「画家になる」という夢への階段を着実に上っていた張さんですが、「幼いころから強い関心を持っていた日本に行つて、画家として生きていきたい」と



いう思いを抑えきれず、25歳のときに同大学を中退。そして、すぐに日本にやってきました。
来日後、生活していくためにアルバイトに明け暮れた張さんは、次第に筆を手にする機会が減っていきました。それでも「画家として日本で活躍したい」という情熱は衰えることなく、各地で開催された展覧会に足を運んでいたそうです。しかし、来日してから8年が経過しても、画家として注目を浴びることはありませんでした。「自分の夢をあきらめなければいけないのか」張さんが思い悩んでいたとき、強く背中を押してくれたのは、今は亡き妻からの激励の一言でした。「あなたが日本に来たのは、絵を描くためでしょう」その言葉で迷いを振り切ることができた張さんは、それまで働いていた会社を辞め、肖像画を描く仕事に専念しました。また、美術展に出展するための作品作りにも没頭し、初めて出品した第45回全日本肖像美術展で奨励賞を、その翌年には同じ美術展で最高の賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。画家としての活動が軌道に乗った張さんは、その後、個展を開催したり、昨年は日本最大規模を誇る日本美術展覧会にも出展したりと、画家として次々と夢をかなえていきました。
画家として成功を収めた張さんに、今後の目標を尋ねると「もっと絵がうまくなりた」と語ってくれました。その純粹な気持ち、ふるさとから遠く離れた異国の地で、夢をかなえた大きな原動力となったのかもしれない。

私の作品

俳句

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へ応募ください。

忍 岡田 修
鹿鹿間遠に刻む春の宵
城西 八木橋近藏

持田 丸山 麟一
やうやくに顔を出したる福寿草
山間の畑一面に仏の座

宍里山町 大竹 祐子
雪解水清き音して利根の堰
梅匂う赤子抱きて父となり
長野 吉野 らん

長野 小林 富枝
亡き子供歳をかぞえる春彼岸
待ちわびし桜咲きけり入社の日
城西 青木 洋子

谷郷 豊田 蓮里
いたいけな児の留守居する春休み
初咲きの紅梅にそつとほよせる
桜町 吉岡 守子

荒木 高澤よね子
雨上り松の根灯す福寿草
〔胡蝶蘭〕(ちぎり絵)
(木島 斗川 監修)

北河原 石川千恵子
風強し緑の麦田波模様
山川美佐子(堤根)

持田 伊藤 洋子
臘梅やいかな風雅な人住める

城南 橋本千枝子
夫米寿ゆつくり春を生きてをり

持田 小林 芳子
野に咲きし矢車草や母に似て



はじめまして

平成23年
5月生まれの
おともだち



綿貫 すみれちゃん(栄町)
父・友和さん 母・泉さん
平成23年5月6日生まれ
「小さくても強い花に♡」



島村 悠仁ちゃん(南河原)
父・憲弘さん 母・由起子さん
平成23年5月3日生まれ
「我が家の暴れん坊將軍♡」



枝並 凜汰郎ちゃん(緑町)
父・基士さん 母・佳奈さん
平成23年5月6日生まれ
「スクスク元気に大きくなつてね」



小林 歩夢ちゃん(中央)
父・尚樹さん 母・智子さん
平成23年5月18日生まれ
「ママのご飯、大好き!!」



吉田 悠希也ちゃん(押上町)
父・敦司さん 母・江利さん
平成23年5月17日生まれ
「心も体も健やかに育つてね」



平成23年7月生まれの
お子さんを募集します

○5月1日(火)~31日(日)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、6月4日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



わかやか サークル

太田公民館 茶道クラブ

～真心を込めたおもてなしを～



にも茶道の奥深さを感じることができま
す。

今月紹介する太田公民館茶道クラブ
は、「生涯学習を始めてみよう」というき
っかけから、昭和54年に誕生し、今年で
結成30周年を迎える歴史あるクラブで
す。現在、毎月第1・3火曜日の午後1
時30分から3時まで、9人のメンバーで
活動しています。

茶道にはさまざまな流派があります
が、同クラブは、16世紀に茶の湯(茶
道)を完成させた千利休を祖とする
「表千家」を取り入れています。金子
光子先生を講師に迎え、ふすまの開け閉
めやおじぎ、歩き方からお茶のたて方、
味わい方まで、日々作法の習得に励んで
いるメンバーの皆さんは「日常の騒々し
さを忘れ、心を落ち着かせることができ
ます」とほほ笑みます。また、足腰に痛
みがあるメンバーでも、楽な姿勢でお茶

おいしい
お茶で客を
もてなす茶
道。お茶の
味だけでな
く、季節に
応じた道具
やお菓子の
選択、振る
舞いの美し
さや心使い
といった、
茶席を形作
る一つ一つ

をたてることのできるように、手作り
の机とイスを用意するなど、お茶を通
してメンバー同士が心を通わせている
のが分かります。

「茶道を始めてから自然と姿勢を正
すようになりました」「茶碗の柄に目
がいくようになりました」「旅行先で
お茶に合うお菓子を探してしまいま
す」など、日常生活の中に茶道の心が
根付いている同クラブの皆さん。太田
西小学校の総合学習の一環としてお茶
を教えたり、7月に行われる行田蓮ま
つりで200人にお茶を振る舞ったり
と、あらゆる人々にお茶の味わいを広
めています。

ぜひ行田蓮まつりで、茶席に参加し
てみませんか。同クラブの皆さんの真
心が込められた、おいしいお茶に出会
えますよ。

▼問い合わせ 大谷☎559-372

